



## Contents

- ・ 家村昭矩新学長インタビュー
- ・ MY CAMPUS LIFE
- ・ Introduction サークル活動

令和6年6月21日 教養教育科目  
「北海道の農と食」農業体験実習の様子

# きらりと光り続ける大学をめざして 家村 昭矩 新学長インタビュー



## ○インタビュー項目

- Q1 意気込み・抱負について
- Q2 ケアの仕事のやりがいについて
- Q3 ケアの専門職にとって必要なことについて
- Q4 本学の特徴・強みについて
- Q5 名寄市の印象について
- Q6 ご自身の研究について

いえむら あきのり

## 家村 昭矩 新学長 略歴

北海道 清里町 出身

1970年 明治学院大学 卒業

～卒業後、新潟県や北海道の児童相談所などに勤務～

2001年4月 北海道立大沼学園 園長

2004年4月 北海道中央児童相談所 所長

2005年4月 市立名寄短期大学 教授

～以後、嘱託教授を含めて9年間勤務し、2014年3月退職～

2018年4月 函館短期大学教授(2020年3月退職)

2024年4月 名寄市立大学 学長 就任

上記以外にも2014年から北海道家庭学校の理事長を務めるなど、子どもの福祉に従事。

2024年1月刊行『児童福祉行政草創期の北海道と家庭学校：北海道家庭学校110年－北の大地の暮らしと教育－』(六花出版)をはじめ、これまでの経験や研究結果を通じて複数の著書を監修。

## Q1 意気込み・抱負について

本学は、「ひと」の生を肯定し、それを支援する専門職を育成する教育機関として高度な知識と技術、そして高い倫理性を有し、保健・医療・福祉の連携と協働を学ぶことができる「ケアの総合大学」です。

私は人々が暮らす地域社会に、絶対必要不可欠な「ひと」の生命につながる支援・ヒューマンサービスの専門性とその精神を醸成する大学として、学生が充実した学生生活を送れるように教育・研究環境の整備に配意した大学運営に努めたいと考えています。

本学の大きな特徴として各学科の一学年の定員が50人前後という少人数体制であることがあげられます。学生同士はもとより、学生と教職員との関係もとても身近であり、日常的なコミュニケーションがとりやすい環境にあります。

小さな大学ならではの持ち味を存分に活かし、教職員・学生・地域の皆さんとともに北辺から「きらりと光る大学」として、さらに「ケアの未来をひらく」専門職養成大学として、今まで以上に輝き続ける努力を続けたいと考えています。



## Q2 ケアの仕事のやりがいについて

ケアの仕事は大変な時もあり、逃げだしたくなることもあると思います。私も現場で子どもたちと関わる仕事をしてきました。子どもと遊んでいる時はいいのですが、トラブルを起こした時はもう大変で、もし、自分がこの仕事を選ばなければどれだけ毎日を穏やかに暮らせたろうかと思うこともありました。

ただそれでも、ケアの仕事はとてもやりがいのある、贅沢な仕事だと思います。

私はたまたま大きな病気やケガをしていないですし、障害もないです。また、親のもとで生まれ、生活ができました。ただ、将来は病気や障害を持つかもしれない。もしかしたら生まれながらに親を頼ることができず、借金まみれの生活をしてたかもしれない。

私たちはケアの仕事を通してそういった方々に寄り添い、自分自身の人生観や社会観を問い、問われるなかで自分自身の生き方を見つめ直すことができます。自分の人生と重ね合わせ、自分自身を見つめ直すことができることがケアの仕事の魅力であり、醍醐味です。



基礎調理学実習  
(栄養学科)

基礎看護技術 I  
(看護学科)



ソーシャルワーク実習指導 I  
(社会福祉学科)



子どもたちを招いて音楽会  
(社会保育学科)

## Q3 ケアの専門職にとって必要なことについて

もちろんそれぞれの分野での専門的知識は必要です。共通して言えることは、人として人の痛みや楽しみを共感しあえること、人の心をお互いに思いやれることが一番大切だと考えています。

そのためにも学生生活では友人や教職員と大いに議論をしてほしいと思っています。自分の思ったことを率直に言い合えるような関係をつくり、そこで自分自身の考えていることを確認し、相手の考えも受け入れ、認めることができる人となってほしいです。

また、人と人、人と自然のふれあいを大切にして4年間の名寄市での暮らしの楽しみを味わってほしいと思っています。

## Q4 本学の特徴・強みについて

本学は地理的なこともあり、他大学との関わりが持ちにくく、学生交流や教育研究活動の面で刺激が受けづらいということがあります。しかしながら多様性のある4学科が本学にはあり、教養教育科目や連携教育科目、コミュニティケア教育研究センターを通したボランティア活動などで学生同士の交流や地域との交流ができます。

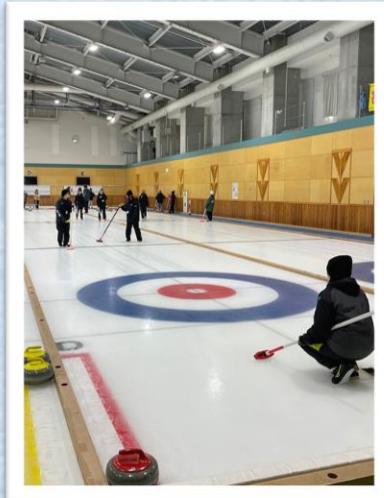
また、前述のとおり本学の強みの一つとして少人数教育があります。先生方がそれぞれの学生に対して教育だけではなく、学生生活も含めサポートをしています。これは本学が小さな大学ということもありますが、開学当初から先生方が苦勞しながらも一生懸命に取り組んできたことであり、他大学にはない、本学の大きな特徴の一つであると考えます。



連携教育科目  
「地域との協働Ⅱ」の様子



教養教育科目  
「北海道の農と食」の様子



教養教育科目  
スポーツ実技Ⅱ(カーリング)



名寄市立大学新入生・保護者歓迎会

## Q5 名寄市の印象について

名寄市は四季のメリハリが鮮やかで質の高い農産物を誇り、冬は北海道の中で最も雪国らしい街だと、事あるごとに周囲に話をしています。「雪質日本一」だけではなく、街全体をいつも真っ白に包み込む冬景色は他の街では見られない素敵な景観です。

また、市民の方がとても温かく本学を見守っていただいていると感じています。入学式の前日には地域の方々が新入生と保護者の歓迎会を企画してくださり、ご招待いただきました。市内を見学するバスツアーや懇親会が開かれ、本学と地域との繋がりを改めて感じる時間でした。

本学は短大時代から数えて今年で65年目を迎え、9600名を超える卒業生がいます。本学は地域の方や卒業生の力強い応援を基にここまで発展してきたと実感しており、その期待に応えることも大事なことで感じています。

## Q6 ご自身の研究について

私の研究の一つとして、遠軽にある社会福祉法人北海道家庭学校(児童自立支援施設)の歴史について研究をしています。北海道家庭学校は100年以上前に東京・巣鴨の「家庭学校」の分校として留岡幸助によって設立された児童福祉施設です。

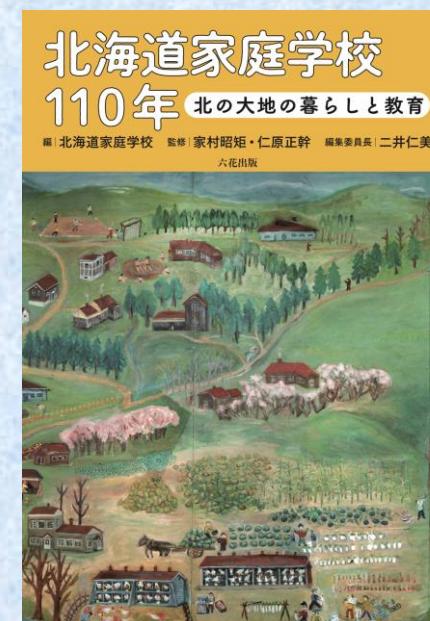
人間社会では悪いことをしたら罰せられるのは当然ですが、留岡幸助は子どもが悪いことをした場合には罰するだけではダメなんだという考えを当時から持っていました。

子どもたちがなぜそのようなことしたのかについて原因をたどっていくと、家庭が家庭らしくなかったということにたどり着きます。物を人から盗んで食べることでしか自分の空腹を埋めることができなかったとか、家の中は夫婦喧嘩が絶えず殺伐としていて、すさんだ心のまま学校や社会へ出て行っても他の子どもや関係者との関係を作ることができずに、最終的に乱暴的な子というレッテルを張られてしまったなどです。

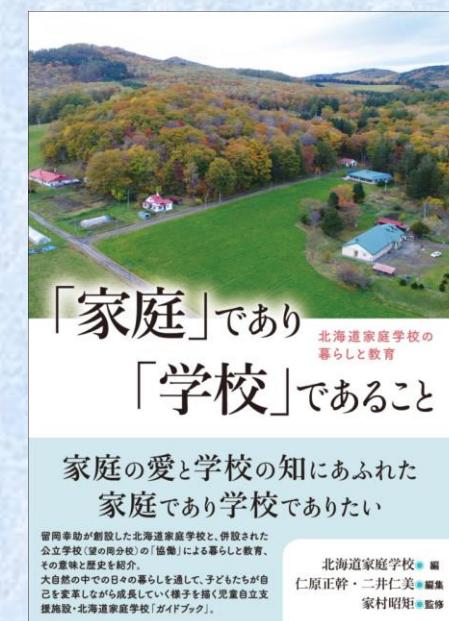
そのため、まずは彼らを子どもとして捉え、彼らが満足に得ることができなかった家庭を与えて、彼らを子どもとして扱う。このことが彼らに一番必要なことであり、その上で人を育てていくのに必要な学校を提供する。だから当時の「感化院」という名称ではなく、「家庭学校」という名前をつけ、家庭であり学校であるという意味を持たせて設立しました。

北海道家庭学校は全国の国公立の児童自立支援施設にも大きな影響を与えた施設であり、その歴史をたどることは子ども家庭福祉の分野に貢献できるものと考えています。私は自身の経験から最初は研究のお手伝いという形でしたが、この研究をしていくことは意義のあるものと考えております。

家村学長が監修した書籍

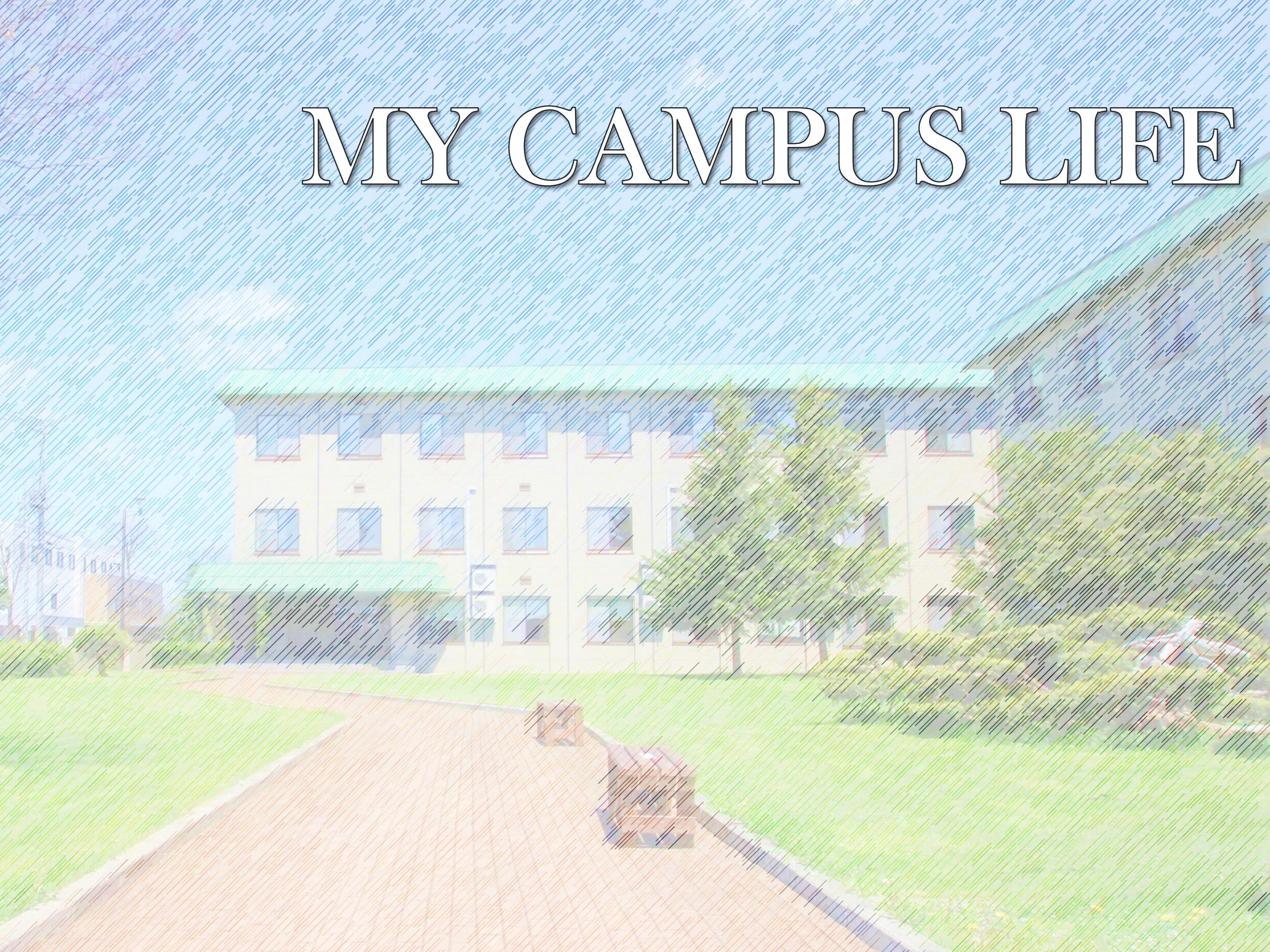


六花出版2024



生活書院2020

# MY CAMPUS LIFE





二郎系ラーメン



ペッパーランチ

趣味であるランニングや料理をしています。ランニングは昔から続けており、講義後に自転車で「なよろ健康の森」に行き、ランニングコースを1時間くらい走ります。帰りに締めとしてソフトクリームを食べて帰るのがルーティンになっています。料理はもともと好きで、一人暮らしをきっかけに食材も自分で買えるようになったので和洋折衷色々なものに挑戦しています。農家さんでアルバイトをしたときにいただいたアスパラで天ぷらや炊き込みご飯を作ったり、また、友だちと一緒に二郎系ラーメンやペッパーランチを作りました。二郎系ラーメンを作ったときはにんにくなど匂いがすごかったのですが、完成したら匂いが気にならないくらい美味しかったです。

## 空きコマや講義後の過ごし方について

栄養学科 3年  
なかい たける  
仲居 健 さん  
秋田北鷹高等学校出身



## 仲居さんのとある1週間 (令和6年度前期)

	月	火	水	木	金	土日
1-2時限目 (9:00-10:30)			実習準備	健康管理論	臨床栄養学Ⅲ	休日
3-4時限目 (10:40-12:10)		栄養教育各論実習	応用栄養学実習	食品有機化学	公衆栄養学	
5-6時限目 (13:10-14:40)		総合演習	食品衛生学実験	臨床栄養学実習Ⅲ	基礎栄養学実験	
7-8時限目 (14:50-16:20)		自主学習				
9-10時限目 (16:30-18:00)	医療福祉論	運動	運動	運動		



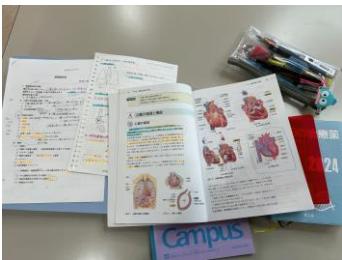
私は現在卒業後の進路として給食の委託会社や食品の商品開発に関わる仕事に就くことを考えています。これから経験する臨地実習や学内での学びを大事にしながら進路を選択していきたいと考えています。

今年度は初めて学外での臨地実習が始まります。7月には給食経営管理論実習があり、陸上自衛隊名寄駐屯地で実習を行う予定です。今まで講義や学内実習で学んだことをどれくらい活かせることができるか、どんな料理がどれくらい喜ばれるかを実際に見ることができ、貴重な機会なのでとても楽しみにしています。

## 臨地実習に向けて

昔から漠然と食品に携わる職に就きたいと考えていました。長く続けていた陸上競技で結果を出すために食事を気をつけるようになり、栄養のことについて学びたいと思うようになりました。名寄市立大学を選んだ理由としては公立大学であること、また、ある漫画を読んで北海道に住んでみたいと思ったからです。名寄市立大学の魅力は医療機関や教育機関等で実務経験のある先生方が多くいることだと思っています。将来、管理栄養士をはじめ専門職を目指す学生が多いため、それぞれの先生の現場での経験をもとにした授業や実習を受講することで、進路のイメージが付き、また、就職先についても具体的な相談がしやすいです。

## 本学を志望した理由、本学の魅力について



ノート整理



ポッチャにて



焼き肉でお疲れ様会



海へドライブ

### 地域での活動のレポート

「看護の日」に行われた看護学科での交流会で仲良くなった先輩に誘われ、地域で行われたポッチャ体験会のお手伝いをしました。

地域の方にポッチャについてお伝えしたり、一緒にポッチャで対決をしました。ポッチャを通して年代問わずいろいろな世代の方と交流することができ、貴重な経験となりました。

### 空きコマや講義後の過ごし方レポート

空きコマは友人と課題を進めたり、授業のノートをまとめたりしています。2年生になって授業もより専門的な内容になってきたので、1年生で習った基礎分野の復習も行っています。また勉強だけではなく、息抜きに友人とごはんを食べに行ったり、ドライブをしたりしています。



看護学科 2年  
ふじわら さや  
藤原 冴彩さん  
士別翔雲高等学校出身

### 本学を志望した理由、本学の魅力について

小学生の時から看護師になりたいという気持ちがありました。大学は4年間かけてより専門的に学べるということ、教養教育科目などを学べるという点も、高校3年生のギリギリのタイミングとなりましたが、専門学校ではなく大学への進学を決めました。

名寄市立大学を選んだ理由は、地元から近く電車で通学ができること、オープンキャンパスに参加したときの模擬授業を見て楽しそうだと感じたことがきっかけです。実際に入学してみると連携教育科目や「北海道の農と食」など講義の中で他学科の学生や地域の方と関わりを持つことができ、名寄市立大学ならではの魅力だと感じています。

私は今年度、連携教育科目の「地域との協働Ⅱ」の活動として地域のスポーツクラブで運動指導のお手伝いをします。私自身小さいころからトランポリンをしていたため、その経験を活か子どもたちと関わることをできるので、今からとても楽しみにしています。

### 臨地実習に向けて

1年生の臨地実習では、ご担当いただいた看護師の方の指導のもと、コミュニケーションや血圧測定など基礎的なことをさせていただきました。2年生では患者様の情報収集・アセスメントを積極的に行い、患者様のことを考えたケアをしたいと考えています。



### 藤原さんのとある1週間 (令和6年度前期)

	月	火	水	木	金	土日
1-2時限目 (9:00-10:30)		地域看護活動論Ⅰ	感染微生物学	薬理学	北海道の農と食	休日
3-4時限目 (10:40-12:10)	英語Ⅱ	病理学		薬理学	心理学	
5-6時限目 (13:10-14:40)	地域との協働Ⅱ	臨床治療学Ⅰ	生命科学	基礎看護技術Ⅲ	老年看護学概論	
7-8時限目 (14:50-16:20)	地域との協働Ⅱ	臨床治療学Ⅰ			小児看護学概論	
9-10時限目 (16:30-18:00)						

## 本学を志望した理由について

私は以前から医療機関に勤めたいと考えており、得意科目であった物理の知識が活かせる放射線技師を目指していましたが、他の科目の点数が足りず、また、経済的な理由もあり、目指すことを断念しました。

共通テスト後、高校の先生に医療・福祉が学べる大学として名寄市立大学を見つけていただき、そこから名寄市立大学を目指しました。

講義や実習を経験し、医療ソーシャルワーカーとして働きたいと考えるようになりました。受験には失敗しましたが、本当にやりたいことが見つかったので、後悔はありません。

## 本学の魅力について

連携教育科目や援農ボランティアなど地域との交流がさかんであることが魅力的であると思います。

連携教育科目は全ての学科の学生が混ざってグループ活動を行うため、他学科の友人ができるほかに、学生の時から多職種連携の重要性について学ぶことができます。

地域の中に飛び込んで行う活動は、地域の方々と交流ができるという魅力の他に、名寄市立大学が名寄市の方々に支えていただき、また、学生も地域を支える側にもなることを交流を通して実感することができます。

地域のあり方、地域がある重要性について学ぶことができるのはとても魅力的なことだと感じています。



## 社会福祉学科 3年

ながせ れいな  
長瀬 玲奈 さん  
青森県立三本木高等学校出身



## 地域での活動について

援農ボランティアに1年生の時に参加し、配属先だった農家さんにアルバイトとして現在雇用してもらっています。私がお世話になってる農家さんはすごく説明が丁寧で、わからないことがあったら親切に教えてくださるので、アルバイトを通して農業に関する知識がなんとなくでもついたなと感じています。

援農ボランティアを通して、農業の大変さを知るとともにその楽しさも気づくことができました。また、年配の方と会話をする際のネタとすることができ、援農ボランティアを体験できて良かったと思っています。



連携教育科目での地域活動



農家さんでのアルバイト

## 名寄市の印象について

名寄市はすごくコンパクトで、日常生活の買い物も自転車で行けるので車を持っていなくても生活しやすい街です。農家さんのアルバイトでたくさん野菜をもらったり、友人のクリーニングを取りに行ったら大量の夕ラをいただいたり、名寄市に来ていなかったら絶対ない経験を、優しさを感じています。

(令和6年度前期)

## 長瀬さんのとある1週間

	月	火	水	木	金	土日
1-2時限目 (9:00-10:30)	高齢者福祉論Ⅱ	ソーシャルワーク演習Ⅳ			総合演習	
3-4時限目 (10:40-12:10)	ソーシャルワーク論Ⅳ		介護福祉論	精神保健の課題と支援Ⅱ	精神保健福祉の原理Ⅱ	
5-6時限目 (13:10-14:40)	保健医療福祉連携論		精神医学と精神医療	ソーシャルワーク演習Ⅵ	ソーシャルワーク論Ⅳ	休日
7-8時限目 (14:50-16:20)	保健医療福祉連携論	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ				
9-10時限目 (16:30-18:00)	医療福祉論					

社会保育学科 2年  
 いとう じんえい  
 伊藤 仁栄さん  
 北海道浦河高等学校出身



## サークル活動について

サークル活動では、軽音、吹奏楽、空手サークルに所属しています。軽音サークルでは、友人とバンドを組み、学校祭やクリスマスライブに参加しました。吹奏楽ではチューバを担当していて、季節ごとのコンサートやコンクールに参加し、昨年のコンクールでは全道大会に出場しました。空手サークルは、私が1年生の時に友人と立ち上げました。まだ不定期での活動ですが、新しく1年生が入ってきてくれたので、活動を続けていき、活発にしていきたいです。



軽音サークル



吹奏楽サークル

## 空きコマや講義後の過ごし方について

カラオケやサンピラーパークに行き、友人と楽しんでいきます。また、大学にある練習室でピアノの練習もしています。保育所や幼稚園での実習や就職後にピアノを弾くことがあり、2年生では1年間かけて授業でピアノを習います。吹奏楽をやっていたので楽譜を読むことはできましたが、ピアノに触れたことはほとんどなく、友人と一緒に練習をしています。

## 本学を志望した理由、本学の魅力について

中学生の頃から将来、保育士や幼稚園教諭になりたいと考えていました。専門学校や短期大学も考えましたが、特別支援学校教諭の免許状が取得できることや就職する前に充実した学生生活を4年間過ごしたいという気持ちもあり、名寄市立大学を受験しました。

名寄市立大学の魅力は少人数での学びができることです。アットホームな雰囲気があり、困った時や、悩み事があるときにすぐに先生方に頼ることができます。大学と聞くと、先生方は近寄りやすいイメージがあるかもしれませんが、この大学は学生思いの先生が多く、私たちにありがたい言葉をくれます。もう一つ社会保育学科の魅力としては、遊びの活動が多いことです。保育士や幼稚園教諭になる私たちが遊ぶことを実体験として知ること、子ども達に教えることができるという考えが先生方であり、学生主体で夏祭りを計画したり、スキー場で尻滑りをしたりなどたくさん遊ぶことができます。

楽しみながら保育についての学びを得られるので、保育者になるというモチベーションを維持していくことができます。



夏祭りにて

## 地域での活動について

1年生の時にコミュニケーションケア教育研究センターから案内があったボランティアに参加しました。名寄市にある北国博物館で、ゴールデンウィークに行われたイベントの時に子どもたちに工作を教える活動や、子どもたちと一緒に昔のおもちゃで遊ぶ活動をしました。

## 伊藤さんのとある1週間

(令和6年度前期)

	月	火	水	木	金	土日
1-2時限目 (9:00-10:30)		子どもと音楽表現Ⅱ	感染微生物学	家庭支援実践演習	心理学	
3-4時限目 (10:40-12:10)	英語Ⅱ	子どもと音楽表現Ⅱ		家庭支援実践演習	北海道の農と食	
5-6時限目 (13:10-14:40)	地域との協働Ⅱ	知的障害者の心理・生理・病理		保育指導論	子ども理解と教育相談	休日
7-8時限目 (14:50-16:20)	地域との協働Ⅱ	自然保育実践演習	児童文化演習	子どもの保健	保育内容・環境Ⅰ	
9-10時限目 (16:30-18:00)	子ども家庭支援論	自然保育実践演習				

# Introduction サークル活動



## よさこいサークル

部員数：39名

活動日：火・木曜日 18時30分から20時30分  
 場所：2号館多目的ホール  
 受賞歴：2018年 よさこいソーラン祭り  
 セミファイナル進出

### サークルとしての目標

私たち「よさこいサークル」は、踊りを楽しむことはもちろん、地域に対する貢献も目標として日々活動しています。

名寄市をはじめ、様々な地域のイベントやお祭りに参加し、私たちの若々しく、元気はつらつとした演舞を届けることで、笑顔や勇気を少しでも与えることができると考えています。

### サークルを通じての学び

名寄市立大学の学生と社会人で「北鼓童&名寄市立大学」を結成し、今年で三十年目を迎えました。

学生だけではなく社会人の方とも交流ができるため、いろいろな経験を聞くことができること、また、各地域でよさこいを演舞をしていくなかで、様々な人や地域との繋がりを実感することができます。

### サークルの雰囲気

各イベントに向けて明るく楽しく活動しています。

社会人の方とも一緒に活動しているということもあり、楽しい中でもメリハリのある練習ができています。

イベントでは色々な地域に行くため、よさこいだけではなく、食事などその地域でしか味わえないことも楽しみにしながら日々練習を頑張っています！